

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営方針

不動産・金融分野で社会に価値を与えるビジネスを創出し、全ステークホルダーに対し社会規範に準拠した利益追求と長期継続的な成長を行う

2 中長期の経営戦略

1. 優秀な人材の確保と育成

新卒・若年層・女性・外国人採用に取り組み、ダイバーシティ経営を推進。経営陣が率先して人材早期登用と待遇改善を実施

3. 資金調達手法の多様化

80行超の金融機関からの借入活用。不動産特定共同事業法ライセンス取得で「B-Den」の不動産型クラウドファンディングを実施

2. ネットワーク・アライアンス深耕

販売用不動産残高の増加で収益拡大。優良不動産情報取得とリピーター顧客創出により、不動産業者・パートナー企業・富裕層とのネットワーク強化

4. DX推進と生産性向上

AI技術活用に全社横断で取り組み。2025年に全32名対象の5回AI研修を実施し、組織全体のAI活用能力底上げを図る

3 対処すべき課題

① 不動産市場環境への対応

- ・ 不動産価格高騰・建築コスト増加・金利上昇への対応
- ・ インバウンド回復による宿泊施設資産価値向上を機会に活用
- ・ 富裕層・海外投資家ニーズへの対応強化

② コーポレート・ガバナンス強化

- ・ 経営の健全性・透明性・客観性向上が必須
- ・ 販売用不動産の外部鑑定取得、内部統制基本方針運用実施
- ・ アセットタイプ分散とポートフォリオ検証体制構築

③ リスク管理体制の強化

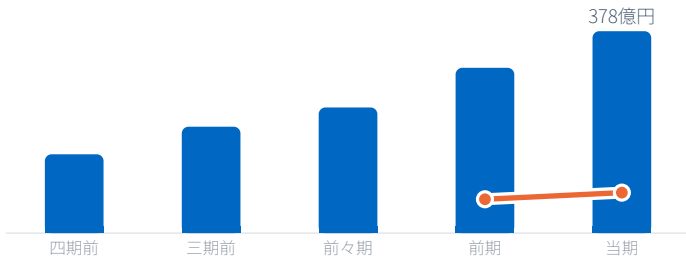
- ・ 管理職向け法務・IT・ダイバーシティ研修充実
- ・ 新型コロナ等による収益機会損失への対応
- ・ IT・DX・SNS等の時代変化への適応

面接で使えるポイント

- ・ 80行超の金融機関とのリレーションシップと資金調達多様化への取り組み
- ・ 2025年のAI研修で全32名が参加し、生産性向上と競争力強化を推進
- ・ 2020年AM会社M&Aから2025年のクマシュー・ジャパングルフオンライングループ化まで、新収益モデル構築に積極投資

証券コード 3452

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
378億円営業利益率
20.1%財務健康度
55点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 55.1（当サイト算出の参考指標）

平均年収
762万円

不動産業内 55位/130社

平均年齢
37.1歳

不動産業内 85位/131社

平均勤続
4.4年

不動産業内 95位/131社

女性管理職
10.5%

不動産業内 45位/76社

男性育休
-（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考：【株式会社ビーロット】系統用蓄電所用地及び電力接続権取得のお

